

2024年度 第1四半期決算説明資料

対象期間：2024.4.1-6.30

2024年8月9日

2024年度 第1四半期 連結決算のハイライト

(億円)	23年度 1Q実績	24年度 1Q実績			24年度 上期計画
			前年同期比	上期計画 進捗率	
売上高	2,627	2,787	+6.1% +159	49.6%	5,615
営業利益	194	204	+5.1% +10	56.9%	360
営業利益率	7.4%	7.4%	△0.1pt	—	6.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	115	139	+20.3% +23	66.4%	210
E P S	41.59円	50.23円	+8.64円	—	75.27円

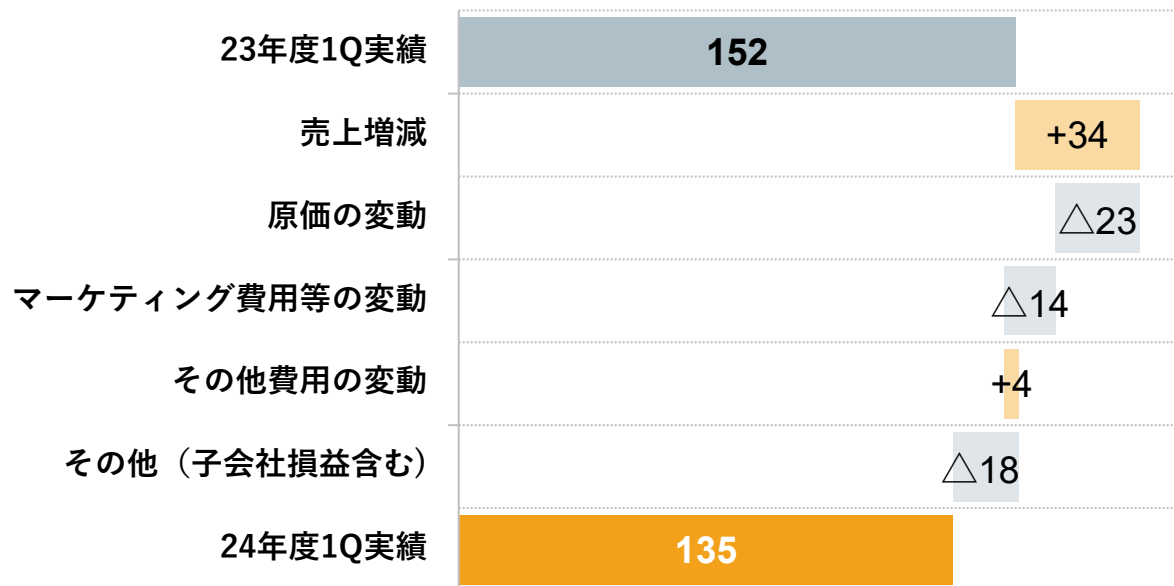
- 1Q実績：増収増益

- ・ 食品は増収減益、医薬品は増収増益
- ・ 四半期純利益は増益。税金費用の減少が主な要因

食品：2024年度 第1四半期 決算概要

(億円)	23年度 1Q実績	24年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	24年度 上期計画
売上高	2,187	2,259	+3.3% +72	49.8%	4,533
営業利益	152	135	△11.0% △16	45.1%	300

営業利益 増減分析



- ： 価格改定効果+48
数量やプロダクトミックスの変動など△14
- ： 原材料コスト増△31（国内生乳、カカオ豆など）
容量変更などによる原価低減+8
- ： 宣伝費、拡売費、販売間接費の増加
- ： 生産体制の見直しによる製造間接費の減少
- ： 中国子会社が減益

食品：2024年度 第1四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)

	食品 全体	デイリー	カカオ	ニュートリ ション	フード ソリューション	その他
23年度1Q営業利益	152	52	32	38	25	4
売上増減	+34	+10	+4	+5	+15	+1
原価の変動	△23	△12	△10	+7	△9	+1
経費等の増減	△10	+1	+1	△9	△5	+1
マーケティング費用等 の変動	△14	△4	△2	△4	△4	△0
その他費用の変動 (内、研究開発費)	+4 (+0)	+5	+3	△5	△1	+2
その他 (子会社損益など)	△18	△2	△5	+1	△10	△2
24年度1Q営業利益	135	48	22	41	16	5

食品：2024年度 第1四半期 事業概況

■ デイリー事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	672	△0.0% △0
営業利益	48	△5.9% △3

● 市場 (1Q)

- ヨーグルト：前年並み 牛乳：+5~6%

● 売上高

- 市販向けR-1は前年並みだが、宅配チャネルの落ち込みがプロバイオティクス全体の減収に影響
- ヨーグルトはブルガリアプレーンが好調だが、23年9月末のブルガリアドリンク大容量 (900g)の終売により前年並みに留まる
- 海外は中国におけるリバイバルプラン実行により減収

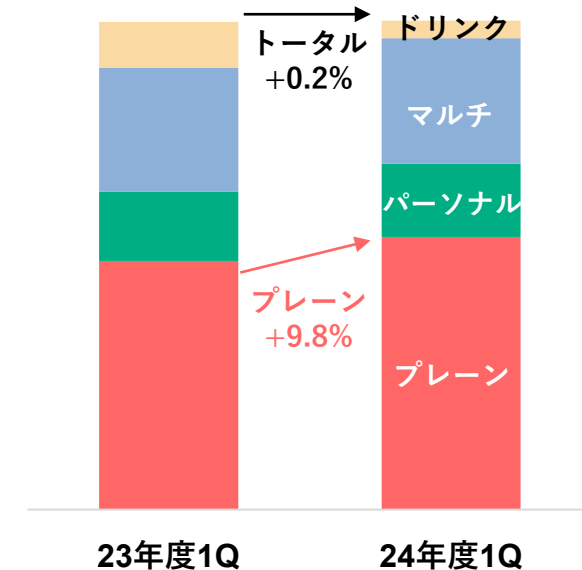
● 営業利益

- 国内は価格改定効果で原材料コスト増を吸収するも、数量減で減益
- 海外は中国の減収により減益

● 主要カテゴリー別売上高実績※

24年度1Q 売上高前年同期比	
プロバイオティクス	△5.7%
ヨーグルト	△0.6%
牛乳	+5.3%

● ブルガリアブランドタイプ別売上実績※



※ (株) 明治単体、収益認識基準適用前実績

食品：2024年度 第1四半期 事業概況

■ カカオ事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	373	+7.1% +24
営業利益	22	△29.2% △9

● 市場（1Q）

- ・ チョコレート：+2～3% グミ：+11～12%

● 売上高

- ・ チョコレートは価格改定に加えて、「チョコレート効果」など主力品が好調
- ・ グミは一部商品の終売もあり減収
- ・ 海外は米国でmeijiブランド品が大きく伸長

● 営業利益

- ・ 国内は価格改定による数量減と終売品影響により減益
- ・ 海外は中国の新工場稼働によるコスト増により減益

■ ニュートリション事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	305	+11.0% +30
営業利益	41	+10.3% +3

● 市場（1Q）

- ・ スポーツプロテイン（飲料）：+約8%

● 売上高

- ・ 「ザバス」シリーズは粉末・飲料ともに伸長
- ・ 海外はベトナムの乳幼児ミルクが伸長

● 営業利益

- ・ 国内は「ザバス」シリーズの伸長と、原材料コストの減少により増益
- ・ 海外は新市場開拓費用増により減益

食品：2024年度 第1四半期 事業概況

■ フードソリューション事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	481	+2.0% +9
営業利益	16	△36.4% △9

● 売上高

- BtoBはクリームやカカオが提案強化による取り扱い拡大で伸長
- フローズンデザートは主力品と付加価値型新商品が増収に寄与
- 海外は業務用牛乳・クリーム事業が大手カフェチェーンのシェア拡大と新規取引先獲得で大幅に伸長

● 営業利益

- 国内はフローズンデザートの増収などにより増益
- 海外は中国の新工場稼働によるコスト増により大幅減益

■ その他事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	426	+2.0% +8
営業利益	5	+29.8% +1

● 売上高

- 糖類を扱う子会社の増収が寄与

● 営業利益

- 原材料コストの減少などにより増益

食品：2024年度 第1四半期 事業概況

■ 海外事業

(億円)

		23年度 1Q実績	24年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	24年度 上期計画
中国	売上高	60	64	+6.8% +4	41.8%	154
	営業利益	△3	△21	— △18	—	△28
アジア	売上高	36	68	+89.0% +32	50.9%	133
	営業利益	2	5	+129.8% +3	87.6%	6
欧米	売上高	77	97	+25.9% +20	58.3%	166
	営業利益	6	3	△42.7% △2	80.8%	4
海外計	売上高	184	227	+23.4% +43	52.6%	431
	営業利益	0	△24	— △24	—	△32

● 中国

- 市販用牛乳・ヨーグルトはリバイバルプラン実行に伴う販売先の絞り込みにより減収減益
- 業務用牛乳・クリームは主力カフェチェーンのシェアアップと新規顧客獲得で増収。新工場稼働によるコスト増により減益
- 菓子は消費低迷により減収だが6月から回復傾向。新工場稼働によるコスト増により減益
- アイスクリームは増収だが天候不順による代理店在庫増で2Q以降は減収見込み。新工場稼働によるコスト増により減益

● アジア

- ベトナムの乳幼児ミルクが伸長し増収増益
- シンガポールの日本向け調整品が増収だが利益には影響なし

● 米国

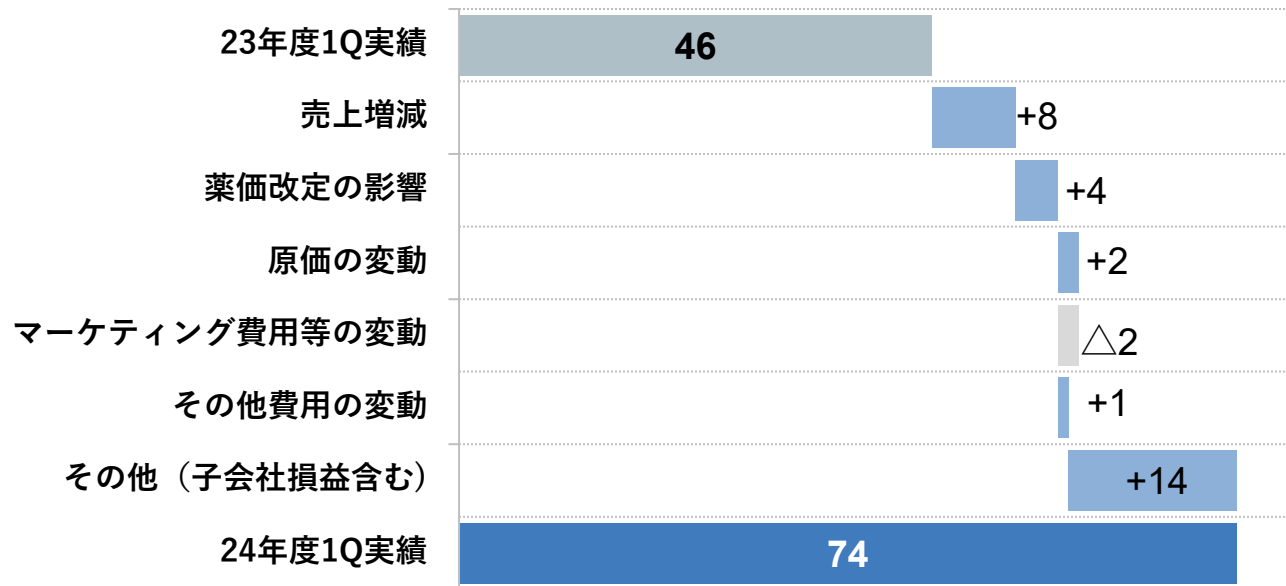
- MLB広告など積極的プロモーションにより明治ブランド品のチョコスナックが好調で増収
- 生産能力増強投資により減価償却費が増加し減益

医薬品：2024年度 第1四半期 決算概要

(億円)

	23年度 1Q実績	24年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	24年度 上期計画
売上高	441	529	+19.8% +87	48.7%	1,086
営業利益	46	74	+61.2% +28	87.0%	85

営業利益 増減分析



： 抗菌薬の需要増に伴う国内医薬品の増収
国内の受託製造売上の増加

： 原価低減

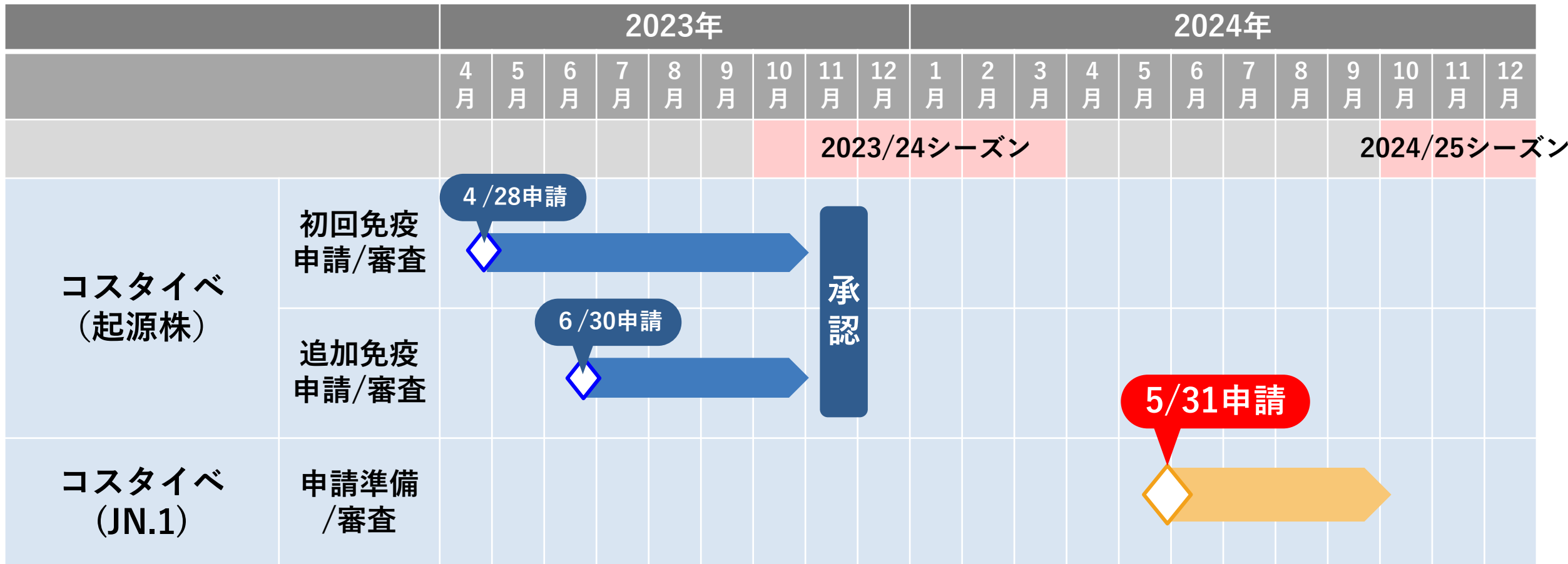
： 普及費等の増加

： 研究開発費の減少

： 国内はGE販売子会社が増益
海外はインドやスペインの子会社が増益

医薬品：2024年度 第1四半期 レプリコンワクチン承認申請状況

2024/25シーズンの流行株（JN.1）ワクチン上市に向け、5月31日に一部変更承認申請



2024年度計画：上期・通期ともに変更なし

(億円)	23年度実績		24年度計画			
	上期	通期	上期	前年同期比	通期	前期比
売上高	5,460	11,054	5,615	+2.8% +154	11,590	+4.8% +535
営業利益	444	843	360	△19.0% △84	860	+2.0% +16
営業利益率	8.1%	7.6%	6.4%	△1.7 pt	7.4%	△0.2 pt
親会社株主に帰属する当期純利益	279	506	210	△24.8% △69	500	△1.3% △6
EPS	100.13円	181.64円	75.27	△24.86円	183.23	△1.59円
1株当たり配当金	47.5円	95円	50円	+2.5円	100円	+5円
総還元性向	—	52.3%	—	—	114.6%	+62.3 pt
ROE	—	6.9%	—	—	7.0%	+0.1 pt
ROIC	—	6.2%	—	—	7.0%	+0.8 pt
設備投資額	250	534	391	+56.2% +140	770	+44.2% +236
営業CF	258	1,079	—	—	600	△44.4% △479
フリーCF	105	833	—	—	10	△98.8% △823

参考資料

2024年度 第1四半期 連結経営成績

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比	主な内容	
売上高	2,787	+6.1% +159	— (詳細はP1-2, P8参照)	
営業利益	204	+5.1% +10	— (詳細はP1-2, P8参照)	
営業外収益	14	+5.3% +0	・ 為替差益 (+1) ・ 受取配当金 (△1)	
営業外費用	12	△27.7% △4	・ 持分法による投資損失 (△1)	
経常利益	207	+8.0% +15	—	
特別利益	35	△35.1% △19	・ 関係会社株式売却益 (△27) ・ 固定資産売却益 (△13) ・ 投資有価証券売却益 (+27)	
特別損失	21	+4.5% +0	・ 固定資産廃棄損 (+10) ・ 固定資産圧縮損 (△5) ・ 関係会社株式売却損 (△5)	
税金等調整前 四半期純利益	221	△2.0% △4	—	
法人税等	77	△23.4% △23	—	
非支配株主に 帰属する四半期純利益	4	△49.7% △4	—	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	139	+20.3% +23	—	

2024年度 第1四半期 連結財政状態

(億円)	24年6月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	5,566	△1.1% △63	・現金及び預金 (△159) ・商品及び製品 (+90)
固定資産	6,460	+0.6% +37	・機械装置及び運搬具 (純額) (+27) ・建物及び構築物 (純額) (+15)
資産合計	12,027	△0.2% △25	—
流動負債	3,171	△1.6% △51	・未払法人税等 (△93) ・支払手形及び買掛金 (△59) ・賞与引当金 (△47) ・未払費用 (△38) ・商業・ペーパー (+200)
固定負債	947	△0.4% △3	・長期借入金 (△9)
負債合計	4,119	△1.3% △55	—
株主資本	6,800	△1.5% △103	・自己株式 (△101)
その他の包括利益 累計額	694	+23.6% +132	・為替換算調整勘定 (+149)
非支配株主持分	412	+0.0% +0	—
純資産合計	7,907	+0.4% +29	—
有利子負債	689	+38.1% +190	・商業・ペーパー (+200)
自己資本比率	62.3%	+0.4pt	—

2024年度 第1四半期 連結キャッシュフロー

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比	主な内容
営業キャッシュフロー	△194	△218	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務の増減額 (△59) ・棚卸資産の増減額 (△48) ・法人税等の支払額 (△30) ・投資有価証券売却損益 (△27)
投資キャッシュフロー	97	+154	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の売却による収入 (+196)
財務キャッシュフロー	△61	△286	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の純増減額 (△379) ・自己株式の増減額 (△107) ・コマーシャルペーパーの増減額 (+200)
フリーキャッシュフロー	△96	△64	—

2024年度 第1四半期 連結営業利益増減分析

(億円)	連結		食品	医薬品	他
23年度1Q実績	194		152	46	△3
売上増減	+42	*1	+34	+8	—
薬価改定の影響	+4		—	+4	—
原価の変動	△21	*2	△23	+2	—
経費等の増減	△11	*3	△10	△1	—
その他（子会社損益含む）	△5		△18	+14	△1
24年度1Q実績	204		135	74	△4

*1： 価格改定効果を含む

*2： 主な内訳 【食品】 原材料コスト増（国内生乳、カカオ豆など）△31、その他（容量変更など）+8

【医薬品】 原価低減+2

*3： 主な内訳 【食品】 マーケティング費用等の変動△14、その他費用の変動+4

【医薬品】 マーケティング費用等の変動△2、その他費用の変動+1

食品：事業別売上高・営業利益

(億円)

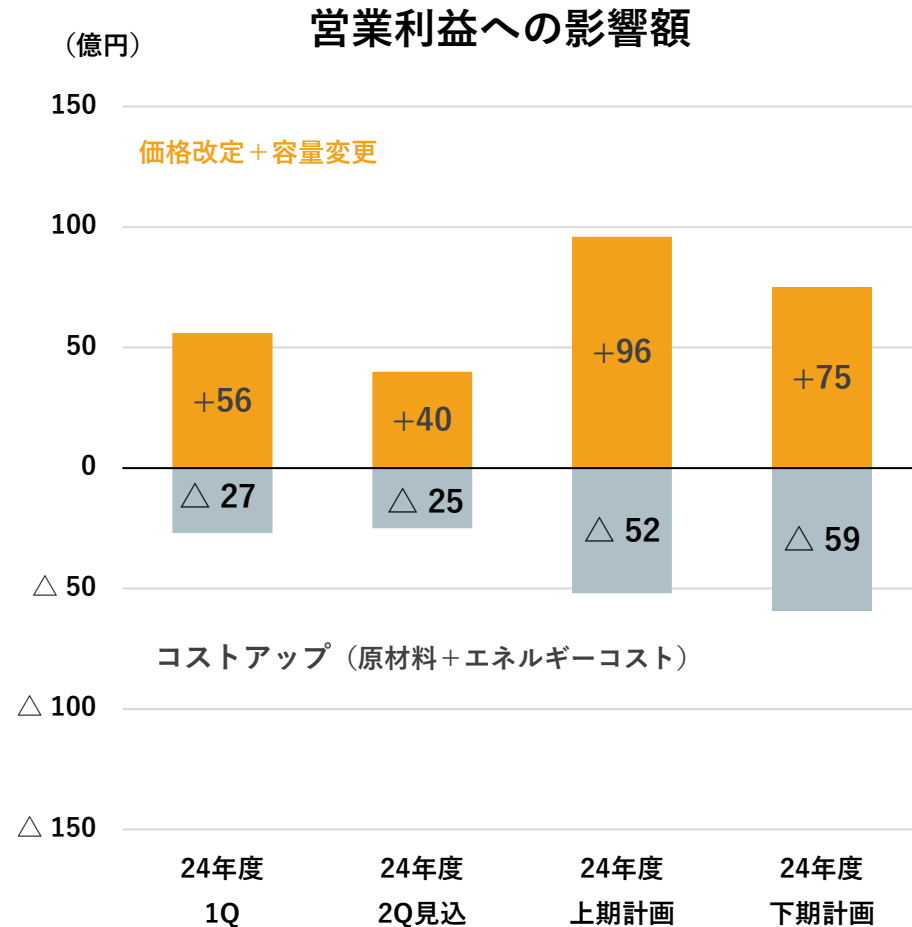
		23年度 1Q実績	24年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	24年度 上期計画
デイリー	売上高	673	672	△0.0% △0	49.2%	1,367
	営業利益	52	48	△5.9% △3	43.8%	111
カカオ	売上高	348	373	+7.1% +24	52.8%	707
	営業利益	32	22	△29.2% △9	79.0%	29
ニュートリション	売上高	274	305	+11.0% +30	52.1%	586
	営業利益	38	41	+10.3% +3	40.7%	103
フードソリューション	売上高	472	481	+2.0% +9	46.8%	1,029
	営業利益	25	16	△36.4% △9	30.8%	52
その他	売上高	418	426	+2.0% +8	50.6%	843
	営業利益	4	5	+29.8% +1	167.6%	3
うち、海外	売上高	184	227	+23.4% +43	52.6%	431
	営業利益	0	△24	— △24	—	△32

食品：2024年度 第1四半期 主力品の売上動向

(億円)	23年度 1Q実績	24年度 1Q実績	24年度		24年度 上期計画
			前年同期比	上期計画 進捗率	
ヨーグルト	197	196	△0.6%	49.7%	394
プロバイオティクス ヨーグルト	239	226	△5.7%	47.4%	475
市販チーズ	72	66	△8.5%	50.1%	132
チョコレート	213	231	+8.8%	54.3%	426
乳幼児ミルク・流動食	172	170	△1.6%	48.0%	354
スポーツ栄養 (ザバスミルク含む)	127	135	+6.3%	48.0%	281
市販・宅配牛乳	183	192	+5.3%	50.7%	379
市販アイスクリーム	117	128	+9.4%	45.3%	282

※収益認識基準は適用していません

食品：コストアップへの対応

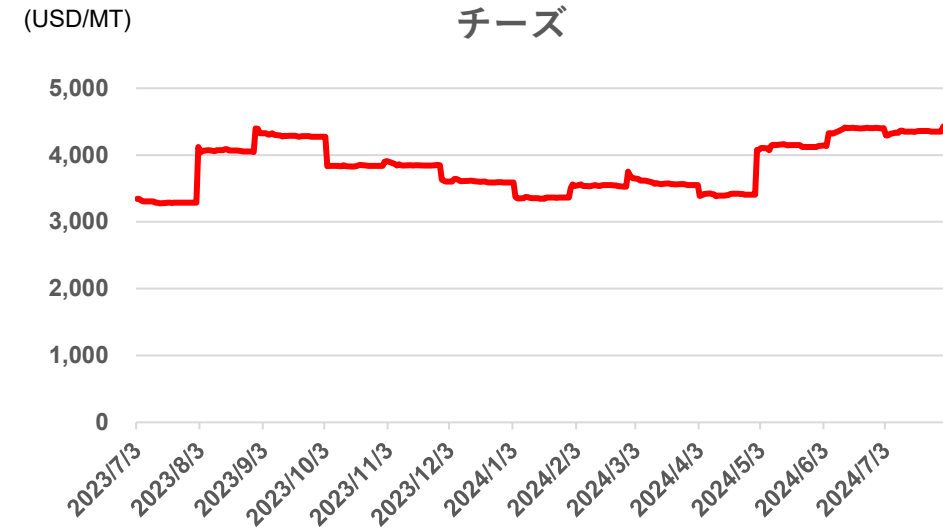


- 1Qは価格改定などにより原材料コスト増の影響を吸収

● 23年度～24年度の主な価格改定

23年4月	チョコレート・グミ	+5-10%
	ヨーグルト	+4-6%
	プロバイオティクス	+4%
	チーズ	+6-13%
	ザバス (粉末)	+4-5%
	ザバスマルク	+2-7%
5月	粉ミルク	+約8%
	市販流動食	+4-9%
6月	チョコレート・グミ	+8%
8月	ヨーグルト	+1-3%
	牛乳	+4-11%
10月	チョコレート・グミ	+4-24%
12月	クリーム	+約4%
	バター	+約7%
24年6月	チョコレート・グミ	+3-33%
9月	アイスクリーム	+5-11%
10月	チョコレート・スナック	+6-31%

主要輸入原料相場の動向



医薬品：2024年度 第1四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	医薬品 全体	国内	海外	ワクチン・動物薬
23年度1Q営業利益	46	39	17	△10
売上増減	+8	+10	+2	△4
薬価改定の影響	+4	+4	—	—
原価の変動	+2	+2	+1	△0
経費等の増減	△1	△7	+0	+6
マーケティング費用等の変動	△2	△3	△0	+1
その他費用の変動 (内、研究開発費)	+1 (+2)	△4	+0	+5
その他 (子会社損益など)	+14	+13	+11	△9
24年度1Q営業利益	74	61	30	△17

医薬品：事業別売上高・営業利益

		(億円)				24年度 上期計画
		23年度 1Q実績	24年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	
国内	売上高	245	284	+15.7% +38	53.6%	531
	営業利益	39	61	+53.9% +21	84.0%	73
海外	売上高	132	186	+40.4% +53	58.5%	319
	営業利益	17	30	+76.4% +13	—	△4
ワクチン・動物薬	売上高	63	58	△7.9% △5	24.6%	236
	営業利益	△10	△17	— △6	—	16

医薬品：2024年度 第1四半期 事業別概況

■ 国内事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	284	+15.7% +38
営業利益	61	+53.9% +21

● 売上高

- 抗菌薬「スルバシリン」「タゾピペ」に加え、血漿分画製剤や国内の受託製造の売上も大幅に増加

● 営業利益

- 販売数量増に加え、薬価改定の下支えとGE販売子会社の増益が寄与

■ 海外事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	186	+40.4% +53
営業利益	30	+76.4% +13

● 売上高

- 為替影響に加え、インドやスペインの子会社が好調に推移

● 営業利益

- インドやスペインの子会社の増収による増益

医薬品：2024年度 第1四半期 事業別概況

■ ワクチン・動物薬事業

(億円)	24年度 1Q実績	前年同期比
売上高	58	△7.9% △5
営業利益	△17	- △6

● 売上高

- 4種混合ワクチンの減収
- 前期に発生した受託収入が当期は未発生

● 営業利益

- 前期に発生した受託収入が当期は未発生
- 子会社の研究開発費の増加

医薬品：開発パイプラインー1

	開発コード名（一般名）	薬効/作用	予定適応症	開発段階
領域 感染症	OP0595* (ナキユバクタム)	β -ラクタマーゼ阻害薬	カルバペネム系抗菌薬に耐性を示す菌株による各種感染症	Phase III（日本・海外）**
領域 免疫	KD-380	血漿分画製剤	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）患者及び多巣性運動ニューロパチー（MMN）患者の急性期治療、維持療法（免疫グロブリン製剤）	Phase III（日本）
新領域	ME3208 (ベルモスジル)	ROCK2阻害剤	慢性移植片対宿主病(cGVHD)治療薬	発売（日本）：製品名レズロック錠200mg (2024年5月22日発売) 申請（韓国・台湾・タイ）
	DMB-3115	バイオ後続品	尋常性乾癬/関節症性乾癬/クローン病 /潰瘍性大腸炎	申請（海外） Phase I（日本）
	HBI-8000 (ツシジノスタット)	ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤	切除不能または転移性悪性黒色腫治療薬	Phase III（日本・海外）**
	ME3183*	PDE4阻害剤	乾癬治療薬	Phase II（海外）
	HBI-8000 (ツシジノスタット)	ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤	再発・難治性B細胞性非ホジキンリンパ腫治療薬	Phase Ib / II（日本）**

*自社創製

**国際共同治験

医薬品：開発パイプライン-2

	開発コード名	薬効/作用	予定適応症	開発段階
ワクチン	KD-370	ワクチン	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型による感染症の予防（5種混合ワクチン）	発売（日本）：製品名クイントバック水性懸濁注射用（2024年3月14日発売）
	ARCT-154	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（レプリコンワクチン：起源株）	承認（日本）：製品名コスタイベ筋注用
	コスタイベ筋注用	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（レプリコンワクチン：オミクロン株JN.1）	一部変更承認申請（日本） ※ARCT-2301の成績を一部変更承認申請（オミクロン株JN.1）に使用
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（成人・不活化ワクチン：起源株）	Phase III（18～40歳）**（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（小児・不活化ワクチン：起源株）	Phase III（6か月～11歳）（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（小児・不活化ワクチン：オミクロン株）	Phase III（6か月～12歳）（日本）
	KD2-396	ワクチン	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型、B型肝炎ウイルスによる感染症の予防（6種混合ワクチン）	Phase II（日本）
	KD-382	ワクチン	デング熱の予防	Phase I（海外）

*自社創製
**国際共同治験

医薬品：開発パイプラインー3

	開発コード名	薬効/作用	開発段階
動物用医薬品	ME4137	抗菌性注射剤（牛）	発売（日本）：製品名フォーシル （2024年5月27日発売）
	ME4137	抗菌性注射剤（豚）	承認（日本）
	KD-412*	ワクチン（牛）	承認（日本）
	MD-22-3002	抗炎症剤（牛、豚、馬）	申請（日本）
	ME4305*	抗菌性製剤（牛）	開発中
	MD-22-1001-1	抗菌性注射剤（牛）	開発中
	ME4406*	飼料添加物	開発中

*自社創製

健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。